

# 月1回 天体観望ショーア

宮城・南三陸 ホテル観洋

## 「地元の子どもにも参加を」



澄んだ星空と天体観望を楽しんでもらおうと、宮城県南三陸町志津川の南三陸ホテル観洋が月1回、屋上で「スター・バー・ティ」と銘打ったイベントを開いている。その時季に合わせたテーマを設け、宿泊客はも

ちらんイベントのみの参加者もいて好評だ。

イベントを担当するのは

インバウンド部長の倉橋誠司さん(55)。「星に興味が

あり、ホテルから天の川が

しっかり見えることに感動

した」と語る。埼玉真所沢市の望遠鏡メーカーに

相談し、開催を協力してもらった。このメー

カーは東日本大震災後のボランティア活動で

ホテルと縁があった。

2017年1月の初

開催時には、国立天文台(東京)の若手研究者らを講師に迎えた。以後2カ月に1回、2夜連続で開催。講師陣や望遠鏡の充実を図り、今では1回平均30人ほどが参加。夏休み

天体観望を楽しむ参加者

など家族連れが多いときは約200人が参加したこと

もある。

今年からは月1回、1夜

の開催に。今後は3月26日、4月9日、5月6日の開催

が決まっている。いずれも午後8時~9時半で定員30人。参加無料。要入時は宇

宙についての講話など。倉

橋さんは「ぜひ地元の子

どもたちにも参加してもら

い、天体観望を気軽に楽し

んでほしい」と呼び掛けて

いる。

流星群の極大日や国際宇宙ステーションの通過などに合わせた開催もある。ホ

テルのホームページで確認

を。

連絡先は南三陸ホテ

ル観洋0226(46)

望遠鏡の接眼レンズをのぞき、

天体観望を楽しむ参加者

や望遠鏡の充実を図

り、今では1回平均30

人ほどが参加。夏休み

2442。

2019年3月7日(木) 河北新報